

発行所 全日本建設交運一般労働組合
栃木県本部 〒327-0315
栃木県佐野市吉水駅前1-2-1
0283-62-7312 fax 0283-62-7318
www.kenkourou.or.jp/
E-mail: DQJ06744@nifty.com

CTGの建交労 とちぎ

確定申告相談4月15日まで延長

引き続き感染対策徹底して

新型コロナウイルス 算書のない人は事務所
感染対策のため、組合 に申し出てください。
の確定申告相談も4月 税務署から郵送され
15日まで延期して行っ てきたハガキ・封筒
ています。

【用意するもの】

昨年の上上げ、経費 年月日
扶養家族の氏名、生
がわかるもの。自主計 算書
昨年支払った国民健 康保険、介護保険の



3月7日組合事務所での相談会

消費税率の引き下げで景気回復を

国交省が「ダンパー 一人親方は不適正」?

国土交通省の「建設業の一人親 方問題に関する検討会」は3月9日 中間方針案を公表しました。
このなかで国交省は、職種別に 一人親方としての就労を例示しダ ンプが「不適正」と解釈される表 現をしています。
関東ダンプでは3月17日、関東地 方整備局に「個人持ちダンプの就 労を拒否する口実になる」と指摘、 本省への上申を求めました。

金額

医療費の領収書、生 計が同じ家族の分も 合算できます。

妻、子供の収入金額
国民年金、生命保険、
地震保険などの控除
証明書

印鑑(シャチハタ不
可)、前年申告書控
住宅を購入又は増改
築した人は組合に問
合せを。

【平日の相談会】

午前九時～午後五時
まで組合事務所。夜
間も対応可。完全予約
制です。必ず事前に電
話をください。

また出た「一発 取消」のウワサ 誰がなんの目的?

今年に入り複数の組 合員から、道交法改正 により過積載10割超 過で15点(取消)にな るのかという問い合わ せを受けています。

なかには免許センター の講習で聞いたという 人も。完全なデマです。 不思議なことにこのデ マ定期的に出てきます。 誰かの願望なのでしょう つか。

オリンピックは中止を 交通規制による減収も深刻

政府は現時点(3月23 日)では東京五輪を開催す る予定です。
しかし世論調査でも明 らかなように国民の半数 以上が中止・再延期を求 めています。首都圏のコ ロナ感染者数は下げ止ま り微増傾向です。ワクチ ン接種も遅れています。
いま政府がやるべきは、 コロナの収束に全力を拳 げることです。

【期間中都内道路は】

開催期間は7月23日 (金)～8月8日(日)と されています。

期間中都内を中心に通 規制が実施されます。 工事を休止する現場も少 なくありません。
都内に乗り入れする組 合員は開催期間中休業せ ざるを得ません。
・組合員高橋徹さん
「オリンピックで仕事 が増えると思ったけどま たく関係なかった。夏場 はお盆で稼働が少ないの に開催したら1か月は無 収入になる。国が補償し てくれるわけでもないし、 そもそもコロナでオリ ンピックなんかやってる場 合じゃないと思う」。

仲間のつながり支え続けて

東成資材支部で30 年以上役員として組合 事務所とのパイプ役を 担ってきた郡士稔さん が引退を決意、後任と して山口ジョニーさん がバトンを引き継ぎま した。



30年以上にわたって支部の役員を務めてきた郡士さん(左)から山口ジョニーさん(ハワイ生まれ青森育ち)にバトンタッチ

コロナ感染拡大第4波の可能性が高まっています。無症状者による感染拡大に最も有効なのが大規模PCR検査です。政府はいまこそ定期的な大規模検査を実施すべきです。

10年目の原発被災地 帰還困難区域に行く

東日本大震災の発生から10年。福島第一原発の爆発事故により甚大な被害を受け、いまだ帰還困難区域に指定されている大熊町、双葉町。

二月十一日、十二日特別許可を受けて立ち入りボランティア活動を行ないました。

震災発生以降、原発被災地での活動内容は年々変化しています。

当初はがれきの撤去や泥出しなどが主な作業でしたが、被災者の遠隔地での避難生活が長くなるにつれ、荒れ放題の自宅家財撤去や屋敷林の伐採などの依頼が増え、帰還をあきらめる被災者が増えて



崩壊したままの住居(2/12双葉町)

きた印象です。

この日の作業も敷地内の杉や竹林の伐採でした。すでに家屋は解体され依頼者は避難先で生活しています。

国は莫大な税金(一)を投入して放射能の除染作業を行っています。



獣も盗人も興味を示さない商品が10年間放置されていた。一時帰宅して片付け作業もできない被災者の窮状を想像する。(2/12双葉町)



国、東電がやるべき伐採作業(2/11大熊町)

しかし、作業範囲は居住エリアなどに限定されています。福島第一原発でつくられた電力は関東圏に送電されていました。私たちの便利で快適な生活が、福島や新潟の原発に依存してきたことをいまあらためて記憶しておきたいと思

計の携行を義務付けられ区域から出る時積算線量を記録されます。伐採した幹、枝葉は汚染土を入れるフレコン

バックに入れ残置します。代々大切に育てられ防風林として家を守ってきた屋敷林は、この日ほぼ皆伐されました。

野党は「原発ゼロ基本法案」を国会に提出しています。しかし与党は審議を拒否しています。

今秋までに実施される衆議院総選挙は、脱原発を実現するうえで極めて重要な選挙です。

【福島を忘れる】震災10年を迎え、マスコミは大量の関連報道を行いました。しかし福島に隣接する栃木県内ですら震災

【編集後記】
・一月から始まった確定申告相談。組合員家族の還付請求も含め現在約310人。昨年実績から推計するとあと80人程度。感染対策にご協力いただき現在のところ感染者はいません(多分)。
・申告相談期間は組合員の厳しい現実に向き合っている。首相の「子息もハローワークに行つて自力で懸命に生きたほうがいい。もうパパからの援助は期待できない」と思っているのか。

【組合員紹介】

ラフタークレーン
井上仁志さん

建築現場などで資材を釣り上げるとき活躍するのがラフタークレーン。井上さんは個人でミニラフターを所有し働く唯一の組合員です。

ミニラフターの特徴は住宅地など狭い現場でも入れること。とは言えその操縦は熟練を要します。

ハンドル右側のパネルにあるのが特有のステアモードスイッチ。前後のタイヤを逆方向に操縦することにより回転半径が小さくなり狭い場所での作業を可能にします。重量物を吊るため作業は細心の注意が必要です。ひとつ間違えばクレーン下にいる作業員の命にかかります。

井上さんは運送会社で長年キャリアを積み独立しました。仕事量はコロナの影響で厳しい状況が続きますが、安全第一で頑張っています。



新築現場で資材を釣り上げているところ。作業員の動き、交通状況、電線の位置や風力など細心の注意が必要です。



左側面の視界が制限されるためモニター画面(ハンドル左下)で死角をカバーします。



操作に集中する井上さん。県内では数少ない個人でラフタークレーンを所有する専門職。

四月十一日は佐野市長選挙、佐野市議選挙。現職岡部市長は全国市長のなかで最高齢82歳・5期目をめざすとか。記者会見で多選批判について「多選だからこそ市民に恩返しができる」と反論。